

2020年度第2四半期 決算説明会

2020年11月18日

富士石油株式会社



Fuji Oil Company, Ltd. (TSE:5017)





次第

- 2020年度第2四半期決算
- 2020年度通期業績見通し

2020年度第2四半期決算



Fuji Oil Company, Ltd.
<http://www.foc.co.jp/>
(TSE:5017)

ドバイ原油価格

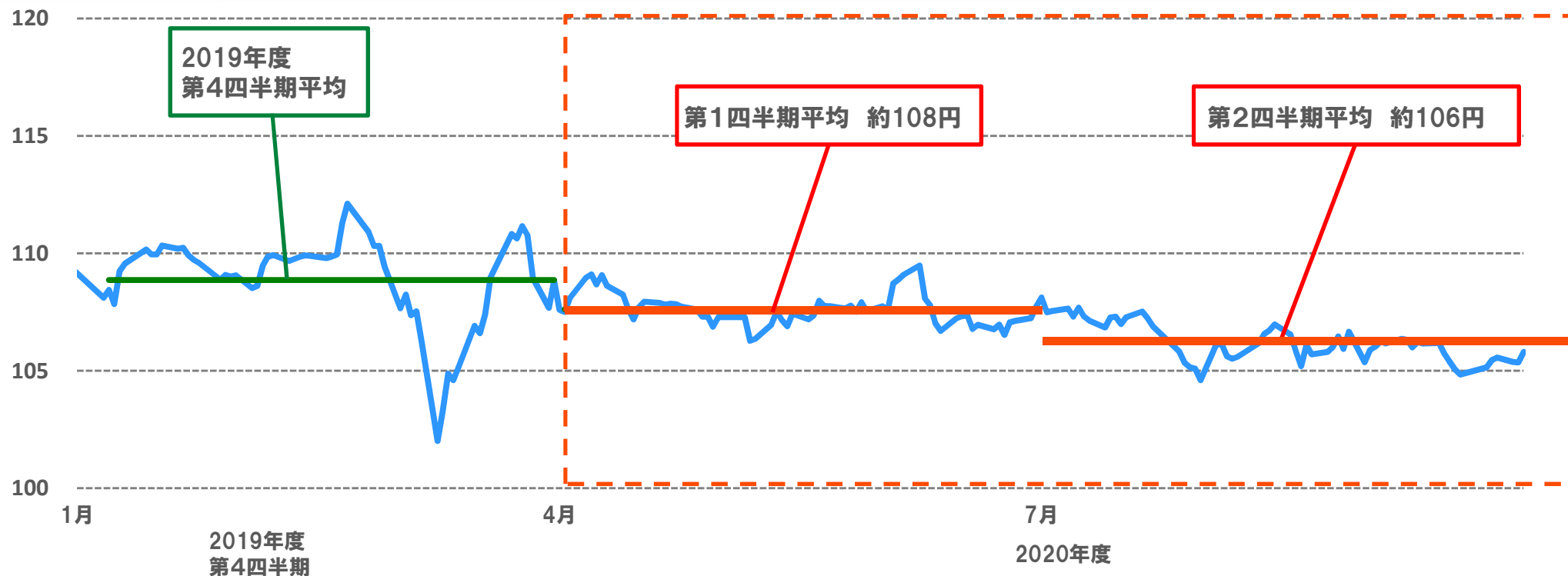
(ドル/バレル)



- 原油価格は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経済活動の停滞等から4月下旬まで大きく下落。その後はOPECプラスの協調減産合意や経済活動再開等により回復、6月以降は40ドル/バレル台前半で推移した。

為替レート (TTM)

(円/ドル)



- 為替レートは、一時的に109円台まで円安となる局面があったものの、7月には米中関係悪化懸念等から104円台まで円高が進行。その後も概ね円高基調で推移した。

石油製品販売量・原油処理量

(単位:千KL)	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	前期比 (%)
ガソリン	1,056	975	108%
ナフサ	155	120	129%
灯油・ジェット燃料	451	552	82%
軽油	802	688	117%
A重油	129	99	130%
C重油	12	66	19%
ベンゼン	66	39	168%
キシレン	157	143	109%
石油ピッチ	148	141	105%
その他	474	455	104%
合計	3,450	3,278	105%
原油処理量	3,297	3,137	105%
稼働率	79.3%	75.4%	

2020年度第2四半期連結決算の概要



(単位:億円)

(参考)

	2020年度 第2四半期	8月公表値	増減		2019年度 第2四半期	増減
原油価格(ドル/バレル)	36.7	35.3	+1.5	+4%	64.3	△27.6
為替レート(円/ドル)	106.9	108.8	△1.9	△2%	108.6	△1.7
売上高	1,626	1,589	+37	+2%	2,118	△491
営業利益	45	28	+17	+62%	△57	+102
経常利益	54	38	+16	+45%	△63	+118
親会社株主に帰属する 四半期純利益	42	35	+7	+22%	△57	+99
在庫影響	47	40	+6	+16%	△12	+59
在庫影響除き営業利益	△1	△12	+10	—	△45	+43
在庫影響除き経常利益	7	△2	+10	—	△51	+59

第2四半期業績 営業利益増減(対前回予想比)



- 在庫影響は、7-9月の原油価格が想定(40ドル/バレル)よりも上振れて推移(約43ドル/バレル)し、**増益要因**に
- 製品マージンについては、化成品市況が下振れたものの需要回復傾向に伴う主燃料油のマージンの堅調な推移により、**増益要因**に
- 精製コスト等については、精製費・販管費の減少等により、**増益要因**に

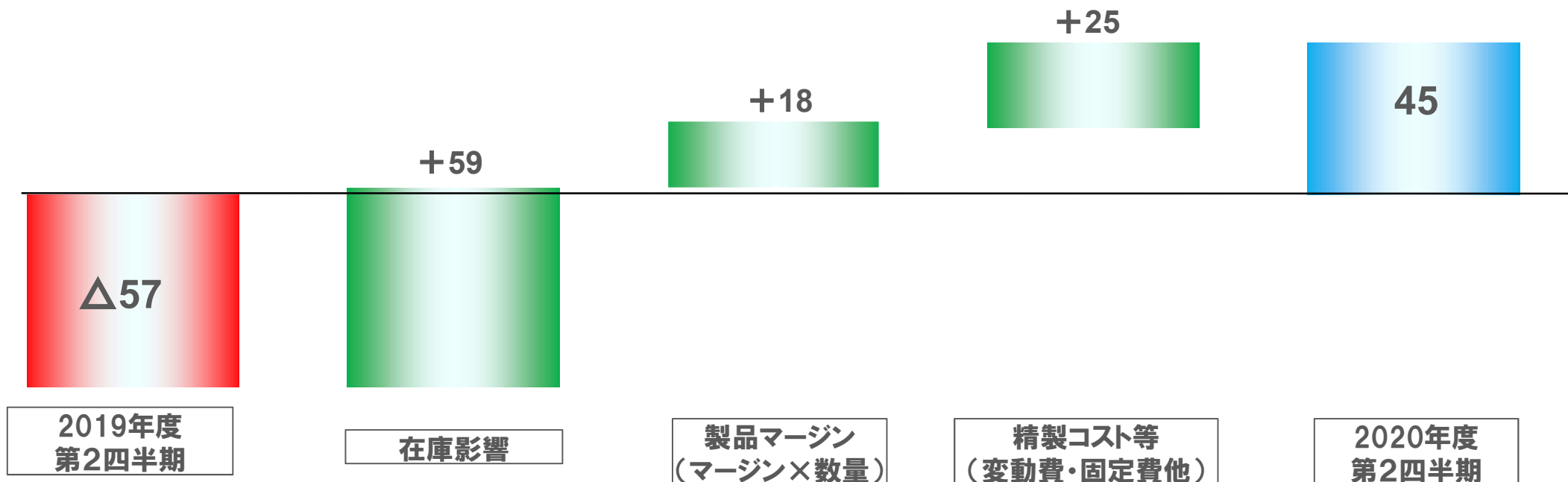


第2四半期業績 営業利益増減(対前期比)



- 在庫影響は、前年同期の原価押し上げ効果が当期は原価押し下げ効果に転じ、**増益要因**に
- 定修影響の解消に加え、6月以降の製品市況の前年同期比での上昇等により製品マージンは**増益要因**に
- 精製コスト等については、油価下落等に伴う自家燃料費の減少等により、**増益要因**に

(単位:億円)



連結貸借対照表の増減概要



(単位:億円)

	2020年9月末	2020年3月末	増減額	主な増減要因
流動資産	1,063	1,253	△190	売掛金 △44 たな卸資産 △112
固定資産	1,201	1,201	△0	償却資産 △23 投資有価証券 +15
資産 合計	2,264	2,455	△190	
流動負債	1,306	1,517	△210	短期借入金 △166 未払金 △33
固定負債	504	524	△19	長期借入金 △38 修繕引当金 +13
負債 合計	1,811	2,042	△230	
純資産	453	412	+40	資本剰余金 △49 利益剰余金 +91
負債純資産合計	2,264	2,455	△190	

	2020年9月末	2020年3月末	増減
自己資本比率	19.9%	16.8%	3.1ポイント改善
負債資本比率	2.08倍	2.77倍	0.69ポイント改善

連結キャッシュフローの状況



(単位:億円)

	2020年度 第2四半期	2019年度 第2四半期	2020年度第2四半期 要因説明	
営業活動によるCF	221	31	税引前利益	54
			減価償却費	32
			売上債権減少	44
			たな卸資産減少	115
投資活動によるCF	△13	△16	有形固定資産取得	△15
財務活動によるCF	△219	△7	借入金の増減	△216
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1		
現金及び現金同等物の増減	△11	5		
現金及び現金同等物の期首残高	104	93		
現金及び現金同等物の期末残高	93	99		



2020年度通期業績 見通し



Fuji Oil Company, Ltd.
<http://www.foc.co.jp/>
(TSE:5017)

概要

- 下期の稼働率は90%の想定。通期で85%となり、小規模定期修理を実施した前年度と同程度の原油処理量を見込む。
- 下期の石油製品市況は堅調な推移を見込むが、化成品市況は回復が遅れると想定

原油価格(ドバイ原油)・為替レート的前提

原油価格 (ドバイ原油)	為替レート
下期:40ドル/バレル	下期:110円/ドル

2020年度石油製品販売量・原油処理量

(単位:千KL)

	2020年度 通期(計画)	2019年度 通期	前期比 (%)
ガソリン	2,118	2,172	98%
ナフサ	434	300	145%
灯油・ジェット燃料	1,049	1,251	84%
軽油	1,625	1,596	102%
A重油	385	309	125%
C重油	72	147	49%
ベンゼン	166	110	151%
キシレン	357	324	110%
石油ピッチ	331	298	111%
その他	987	886	111%
合計	7,526	7,393	102%
原油処理量	7,045	7,107	99%
稼働率	85%	85.4%	

2020年度通期連結業績見通し

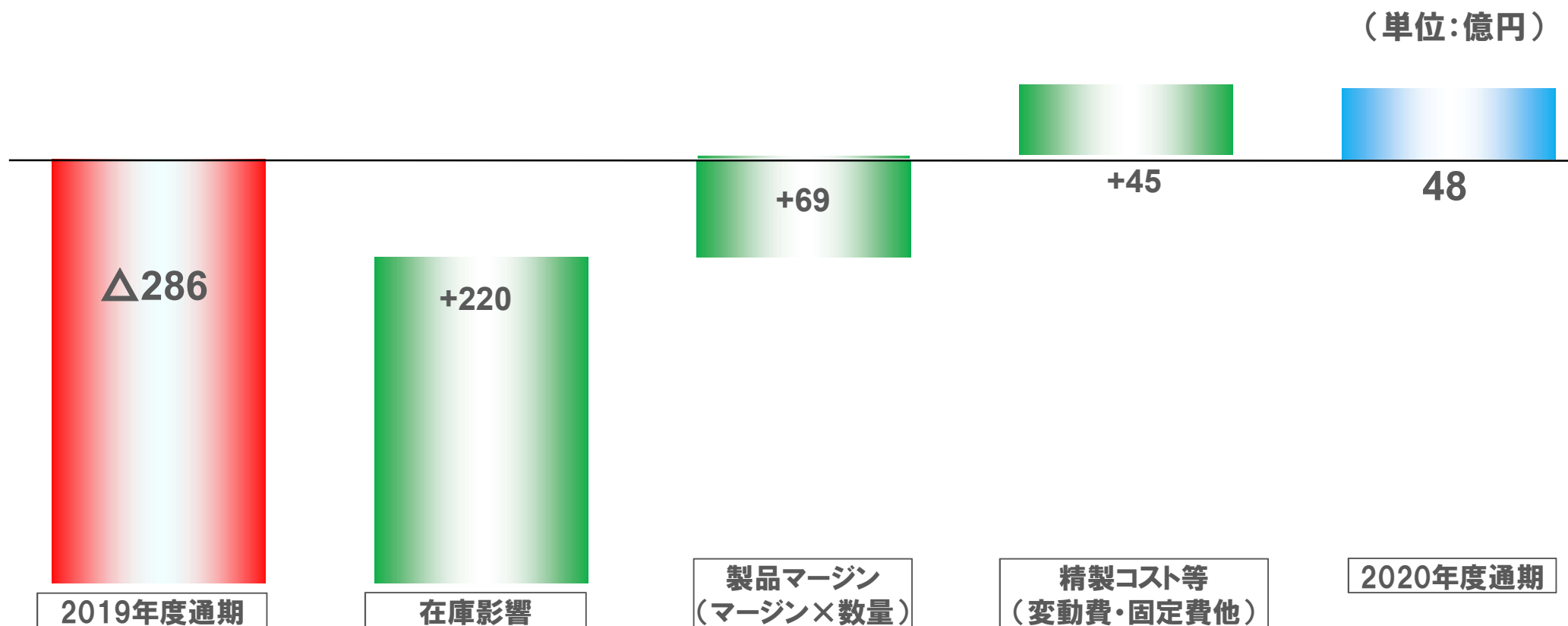


(単位:億円)

	2020年度 通期(計画)	2019年度 通期	増減	
原油価格(ドル/バレル)	37.6	60.3	△22.7	△38%
為替レート(円/ドル)	109.4	108.7	+0.7	+1%
売上高	3,367	4,623	△1,256	△27%
営業利益	48	△286	+334	—
経常利益	61	△287	+348	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	49	△290	+339	—
在庫影響	17	△203	+220	—
在庫影響除き営業利益	31	△83	+114	—
在庫影響除き経常利益	44	△84	+128	—
(参考)				
減価償却費	64	66	△2	△3%
設備投資	28	33	△5	△15%

業績見通し 営業利益増減(対前期比)

- 在庫影響は、前期の原価押し上げ効果が当期は原価押し下げ効果に転じ、**増益要因**に
- 前年度2-3月の急激な製品市況悪化の解消等により製品マージンは**増益要因**に
- 精製コスト等については、油価下落等に伴う自家燃料費の減少等により、**増益要因**に



(参考資料)原油価格・為替変動の経常損益への影響額



	基準		
原油価格 1ドル/バレル下落に付き	40ドル	在庫影響	△5.5億円
		石油ピッチ 自家燃料費	+1.5億円
		計	△4.0億円
為替 1円/ドル円高に付き	110円	在庫影響	△2.0億円
		自家燃料費	+0.5億円
		計	△1.5億円

(注) 上記影響額は見通し期間である2020年度下期を対象として試算しています

当社 袖ヶ浦製油所

